

環境学習プログラム学校訪問 記録用紙

訪問月日:令和6年 11 月 11 日(月)	訪問校:西藤島小学校	記録者氏名:坪内 彰
------------------------	------------	------------

※能力・態度、概念の欄には、下記の該当する番号を記入して下さい。

〈能力・態度〉

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

〈概念〉

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤

概念を理解するために必要な（身につけるべき）能力・態度

	環境の取組	能力・態度	概念
		②、③、⑤、⑥、⑦	①、②、③、⑤
		所感	
I	《物を大切に取る取組》 - 資源には限りがあり、大切に使用することで資源を長く有効に使えることを理解します。 - 自分の持ち物には必ず名前を書きます。	学校訪問当日は、最初に環境学習への全体的な取り組みについて、赤澤教頭や石丸校長から口頭説明を受けたのち、校内を巡視し、節電や節水の掲示物などを確認した。 その後、愛S0委員会13名（当日は10名）を対象に、福井市職員によるどんぐりプロジェクトの口頭説明とDVD視聴をもらい、学校中庭にて、各自2ポットずつのどんぐりの植え付け作業をもらった。 作業時の生き生きとした、前向きな態度に、日々の学習態度がしのばれ、感心させられるとともに、質問が出されたこともすばらしい。 また、中庭のグリーンカーテン（へちま）やアサガオのポット栽培、散水施設を設置した花壇、菜園（サツマイモなど）、学校田など、西藤島公民館等地域の協力を得つつ、多彩な体験学習に取り組んでいることは高く評価すべきと思う。	

	環境の取組	能力・態度	概念
Ⅱ	≪節電・節水の取組≫ ・ 電気（消灯）係を順番に担当することで、節電に対する意識をもたせます。 ・ エネルギーや節約の大切さを知り、節水にも進んで取り組みます。	③、④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
		所感	
		手洗い場所に節水を呼びかけるための掲示はよくある光景だが、蛇口からの水の出し方を具体的に（写真付きで鉛筆太さの呈示）説明していることは、ユニークですばらしいアイデアだと思う。	

	環境の取組	能力・態度	概念
Ⅲ	≪リサイクルの取組≫ ・ 不要になったプリントや広告などを使って、小さなゴミ箱を作ります。 ・ そして、給食時のもえるゴミ入れとして再利用します。	③、④、⑤、⑥、⑦	②、③、⑤、⑥
		所感	
		地味で地道な活動であり、ともすればマンネリ化しやすい取り組みですが、とても基本的な環境活動テーマで重要なことであり、今後とも継続的に取り組んでほしいと思う。 また、校内の分かりやすい場所に、ペットボトルのキャップを活用したキャラクターのモニュメントが設置されており、初めて目にしたが、こちらもすばらしいアイデアです。 さらに、制服や体操着のリサイクル（シビアに言えば、リユース）活動については、今後とも継続されることを期待します。	

	その他の所感
Ⅳ	環境への取り組みは、どこの学校・組織・団体であっても、ほとんど同じ内容・メニューになりがちであるが、そのこと自体は何ら問題ではありません。そのうえで、それらの活動の中に、一つでも地域に根差したオリジナリティがあれば、取り組みに活力が生まれ、その持続性が期待される。 そうした意味で、学校田、菜園、グリーンカーテンなど、先生方の日々のご苦労がしのばれますが、とても有意義な取り組みだと思う。 なお、今回の児童によるどんぐり種子の植え付けは、児童間の発芽率競争を目的とするわけではなく、水やり等適切に管理しても、すべてが発芽するわけではないので、その結果の受け止め方（これが自然の摂理であることなど）について、児童に適切に指導・対応してほしいと思う。

【訪問の様子】

